

【参考1】 特許活用 虎の巻 2020について（概要）

「特許活用 虎の巻 2020」は、主にモノづくり企業がヘルスケア・医療機器産業の新規参入（新規事業開拓、新製品開発）を検討するのに、**特許の公開情報を技術情報として扱う**ことにより、自社の強みや特性を把握し、新規産業分野での方向性を模索するための手引書です。



特許を技術情報として活用し、新規事業にチャレンジしよう

特許活用 虎の巻 2020

新規事業参入・新規開発テーマを探索するための特許活用法

公益財団法人 名古屋産業科学研究所
中部TLO

● 特徴

これから初めて特許分析をやってみようという企業、新規事業参入を計画している企業が、自社の強みや特性を把握し、新規産業分野での方向性を模索できるよう、特許分析に必要なツールや、会議の進め方、テーマの深掘りの方法など、ステップ毎に具体的な例を示しながら詳細に解説しています。

➤ ステップ1 特許マップ作りの材料を収集

→「特許カード」作成による“可能性”の顕在化

➤ ステップ2 特許マップを作る

→特許分析から将来の医療・ヘルスケア重点領域を特定

➤ ステップ3 特許マップを読む

→特許マップを通して市場、技術的動向を俯瞰する

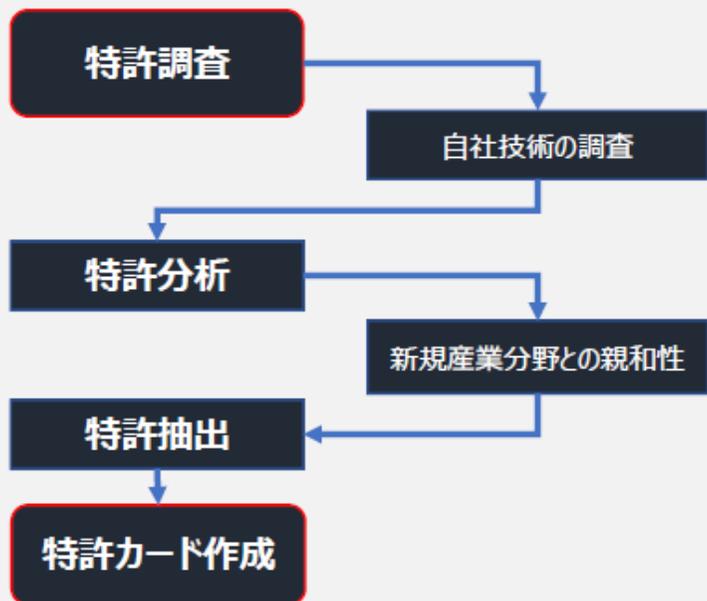
マニュアル活用のイメージ①

ステップ1 特許マップ作りの材料を収集（自社技術の調査、特許分析、特許抽出）

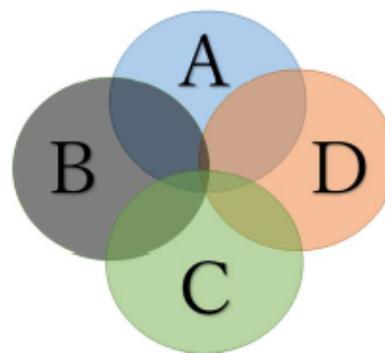
➤ 「特許カード」作成による“可能性”の顕在化

→ 自社技術の強みに、次世代医療テーマや医療機器メーカーを掛け合わせた特許分析を実施

ステップ1 作業フロー



ステップ2へ



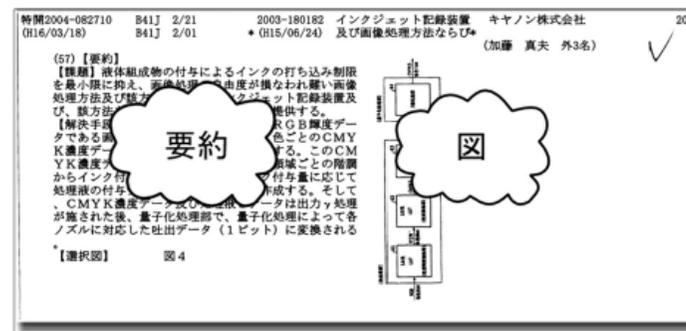
- A) 自社技術の強み
- B) 医療関連特許分類
- C) 次世代ヘルスケア・医療機器
- D) 医療機器メーカー

メモ

特許の役割は、発想を促すための切り口やキッカケです。検索は漏れがあっても問題ありません。

- 検索：Aを起点に試行錯誤を繰り返すことが肝要
- 検索式：A×B、A×C、A×D、A×B×C、A×C×Dなど

<特許カードの例>

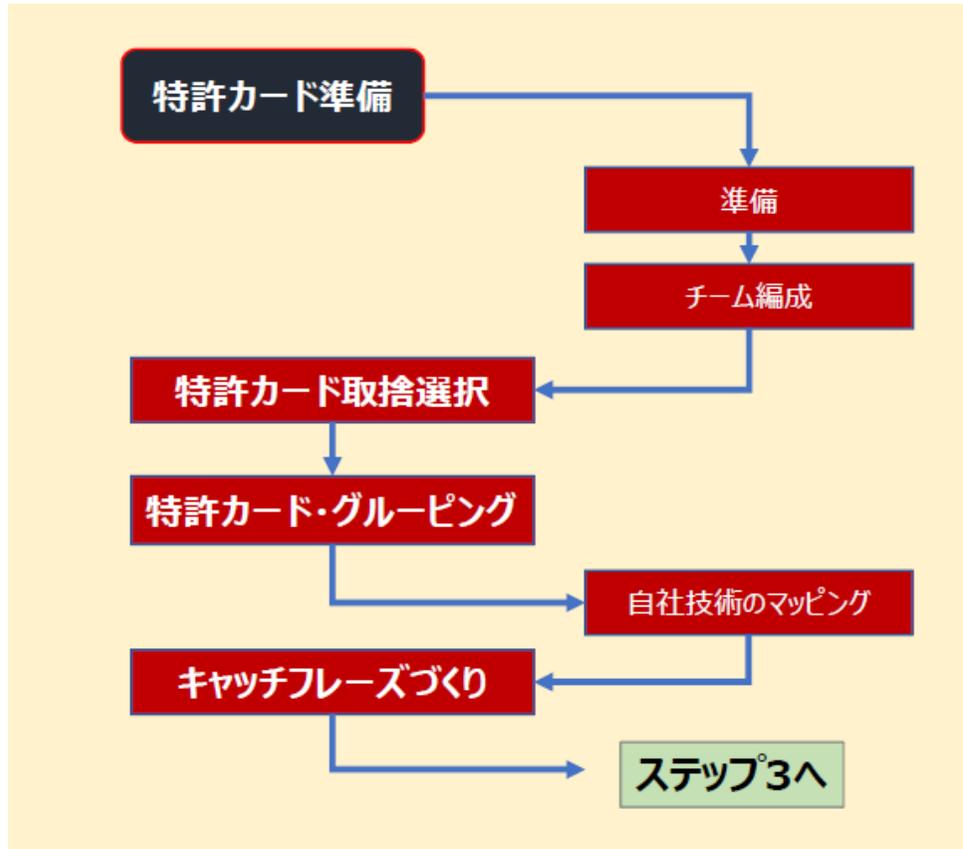


マニュアル活用のイメージ②

ステップ2 特許マップを作る（特許選択、グルーピング、技術マッピング）

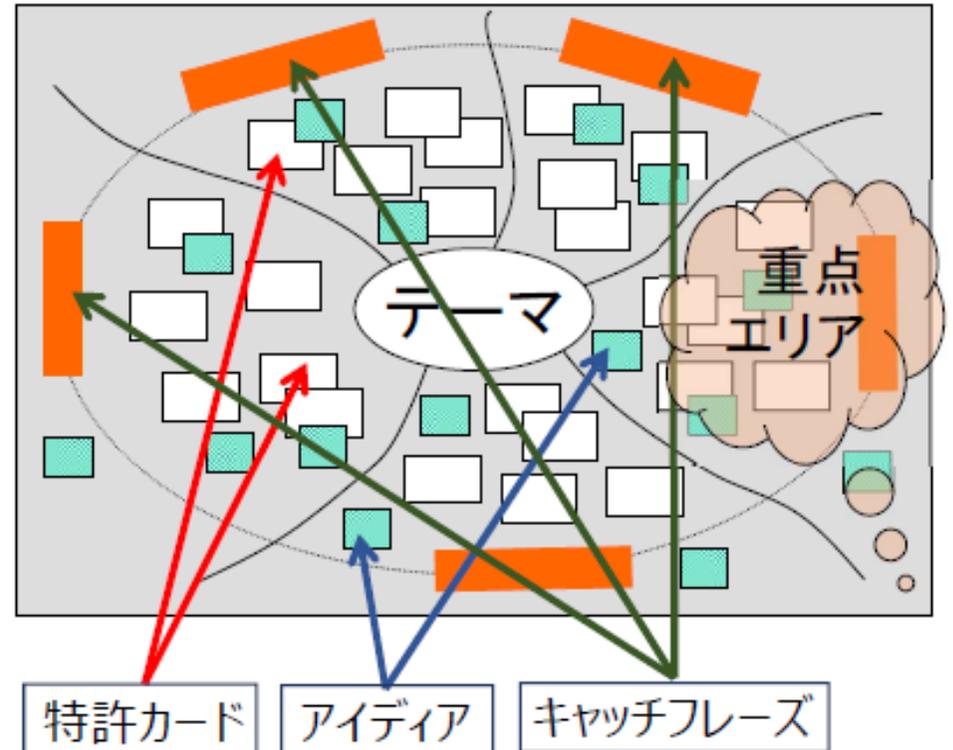
- 特許分析から将来の医療・ヘルスケア重点領域を特定
→ブレインストーミングを活用した特許マップ作成と、特許マップの読み解き方法を紹介

ステップ2 作業フロー



(概略図)

模造紙



マニュアル活用のイメージ③

ステップ3 特許マップを読む（時間軸設定、自社技術の特許マップへの配置）

➤ 特許マップを通して市場、技術的動向を俯瞰する

→特許マップに時間軸を表現する（中心から外側で現在→未来を表現）

→自社技術を「ドンピシャ技術」、「関連ありそう」、「関連性なし」に区分

→「ドンピシャ技術」は中心に、「関連ありそう」は外側に配置する

→テーマについて、「既存技術で対応可能」、「将来対応可能」といった開発情報が見えてくる。

ステップ3 作業フロー

